



消費税増税から市民のくらしを守る施策を



江南市議会3月定例会。日本共産党議員団は、市民の暮らしを守りむだ使いを止めさせる立場に立って14議案に賛成、8議案に反対しました。

財政考え、過大な事業の見直しを

布袋駅周辺鉄道高架の本線工事が始まり、関連する市道東部439号線の道路拡幅(約4億3千万円)、布袋駅東駅前広場(約2億1千万円)、広場へのアクセス道路として布袋東部280号線、425号線(約7億2千万円)などの事業が続々と計画されています。

これまでもムダで過大だと見直しを要求してきた布袋本町通線(約10億円)に加えこれらの事業も、財政状況を考え見直すべきです。

危険なマイナンバー法のためのシステム改修に巨費

国民すべてに12ケタの番号をつけ、個人情報に国が一元的に収集・利用するマイナンバー法のための「システム改修」に、国補助金約5千6百万円が計上されました。個人情報の悪用やプライバシー侵害の危険性が高まるもので到底認められません。

1回限りの臨時給付金では焼け石に水

消費税は低所得者ほど負担が重い逆進性のある不公平税制です。その増税は矛盾をいっそう激化させます。国は対策として、児童手当の支給対象児童や住民税非課税世帯に1人1万円の「臨時給付金」(年金受給者などには5千円を加算)を支給します。

しかし年金者の場合、昨年10月と今年4月からの年金削減と消費税増税による年間6万円前後の負担増に対し1万5千円が戻ってくるだけ。しかも1回限りの措置では焼け石に水です。

どうなる図書館 基金のとり崩しを止め 新築の検討開始を

築38年。老朽化し、段差が多い、狭い、暗いなど問題が多く、市民要望に十分応えられていない市立図書館(右)。1人あたりの図書資料購入費は年間110円と県下ワースト3。近隣市町に比べ極めて



少額ですが、「蔵書スペースが狭く図書購入費を増やしても置く場所がなく限界」(部長答弁)と、予算を増やす姿勢はありません。

新図書館建設のための積立金が7億4134万円あります。

ところが3月議会に市は財政が厳しいからと、積立金を現図書館の改修目的にも取り崩して使えるよう条例改定し、バリアフリー化や浄化槽・トイレ改修、東側隣接地の土地購入準備のための予算を提案しました。

しかしバリアフリー改修の後でも、中2階や3階に車いすで行けるようにはなりません。ボランティア活動の場の確保、滞在型の図書館を求める市民ニーズへの対応など、狭隘な現施設の改修では限界があることは明らかです。

さらに現図書館は今後、早い時期に内外装や電気設備などの大規模改修が必要です。このままでは、図書館新築のために過去から積みたてられた基金が、なし崩し的に現図書館の改修に使われてしまう恐れが十分あります。

市がやらなければならないことは、新図書館建設を視野にいれ、早急に市民参加で議論を開始することではないでしょうか。

市民に負担増押しつけ

物価上昇、年金引き下げ、消費税8%への増税の中、市はさらに市民に負担増を押しつけました。

- いこまいCAR予約便 (迎車料金を自己負担に、100円未満切り捨てから10円未満切り捨てに変更)
例) 初乗り料金区間の場合 300円 → 460円へ
- 後期高齢者医療保険料
1人当たり平均 年71,871円 → 年73,540円へ
- 上・下水道料金 3%値上げ
- 保育園3歳以上給食主食代 月900円 → 月930円へ

3年続いて好評の住宅リフォーム助成を打ち切り 子ども医療費無料の年齢拡大を先送り

江南市は、市民と市内業者への支援策として好評だった住宅リフォーム助成を打ち切りました。

子ども医療費助成(通院)は依然として小学校3年まで全額、小学校4年から6年までは窓口で一旦全額支払い、後で3分の2の助成金が戻ってくる償還払い制で、県下最低レベルです。市長は、「2015年度には中学3年生まで3分の2の助成を拡大できるよう準備する」と表明しましたが、すでに県下自治体は全額助成・窓口無料が大半です。



新ごみ処理施設

候補地押しつけを拒否

扶桑の地元(小淵区)は反対多数

扶桑町側の地元住民の賛否をたずねたアンケート結果(3月実施)が判明。小淵区では反対が60.6%と賛成を大幅に上回り、建設反対

賛同	20(8.1%)
反対	149(60.6%)
条件付き賛同	74(30.1%)
その他	3(1.2%)

の明確な意思が表明されました。

小淵区は昨年1月、区長名で反対の要望書を提出、2回にわたり開催された地元説明会でも非常に厳しい意見が出ていました。今回のアンケート結果で再度、反対多数が確認されました。江南市は住民の意思表明を尊重し、中般若町北浦を候補地とするのを止めるべきです。2市2町で原点に戻り考え直すことが迫られています。

中般若区でも、「不公正で強引な市の介入による地元同意の取得は無効」と住民が抗議

江南市側の地元(中般若区)は同意と発表されました。しかし住民からは「同意は詐称」と強い抗議の申し入れ書が第1小ブロック会議に提出されています。

市民が主人公の市政は名ばかり。市が強引に介入して同意を押しつけ、住民の間に深刻な対立と分断が起こっています。決して許されません。